

# 白鶴酒造 「ZIMA」「BLUE MOON」3月発売

## ポートフォリオを広げ、行動変える



「ZIMA」は家庭用と業務用の両方に強い

業態

——注力する

——3月発売からの状況  
「ZIMA」は認知度が高いブランドで、取り扱いが決まってからは販売先からお声をかけていただくこともあり、配荷が進んでいる。広く知っていただいているブランドだが、コロナ禍による外食市場の変化と21年終売以降の空白があり、

20代はもちろんだが、既存ユーザーである30代以上にも運動して楽しめるプロモーションで、世代を超えてつながるようなコミュニケーションを目標している。



伸夫執行役員マーケティング本部長(写真右)、小倉健太郎課長代理(同左)に聞いた。  
(聞き手 赤松裕海)

【天阪】白鶴酒造は、プレミアム低アルコール飲料「ZIMA」、米国で売上No.1のクラフトビール「BLUE MOON」を3月31日に発売した。いずれもモルソン・クアーズ(アメリカ)が展開するブランドで、日本ではモルソン・クアーズ・ジャパンが輸入販売していたが21年末の同社の撤退以降、空白となっていた。「ZIMA」「BLUE MOON」の再上陸について、マーケティング本部の森

ブランドで、幅広く広げていくことは、モルソン・クアーズとともに同じ考えである。モルソン・クアーズからは、日本酒で培ってきた販売網にも期待されている。

日本の家庭用での「ZIMA」の広がりは、CVSで取り扱いが広がったからとも言われており、CVSをはじめ、SMやDGSなど、当社の全国展開している販売機能を通じて更に広がっていく。

業務用は、ダイニングバーや居酒屋をはじめ、食を中心とした飲食店での取り扱いはもちろんのこと、クラブやカフェバーなど、当社があまり馴染みのない業態に対しても新規に取り組んでいる。

ボトル飲みができるZIMAの特性を活かして、ダーツバーのような、エンターテインメントに触れない



アメリカのクラフトビールとしてはあまりない15ℓ樽も発売している。アメリカのクラフトビールを日本で生ビールとして飲めることは特別感があり差別化できる。まだ導入店が少ないが、全国からの要望も出てきており、販売エリアを拡大している。

白鶴酒造はこれら商品を扱うに当たり、商品を売っていただくだけではなく、私たちの活動を変えたいという目的もあった。扱う商品が日本酒ばかりでは、日本酒を

(5面に続く)

「BLUE MOON」も業務用・家庭用ともに幅広く広がっていく。アメリカではポピュラーなブランドであるが、日本での認知度はそれほど高くないので、接点を増やしていくことが重要と考える。

無濾過のホワイトエールビールなので、酵母が底に溜まる。そのため、ビールを注ぐ前に商品を転がすという楽しさも含めた訴求や、柑橘感を高めるために添えられたオレンジはシンボルになるので、それを全面的にアピールしていく。飲食店向けに用意したオリジナルバーマットはビールを転がすシェイクトレイ一体型としている。また、TikTokなどのSNSを通じて、飲み方の発信をしている。

プロモーションでは、「香水」が大ヒットしたシンガーソングライター瑛人を起用し、「BLUE MOON」のためにイメージソング「Hey Brother」を書き下ろしていただいた。瑛人がDJを務めるラジオ番組は、「BLUE MOON」の番組提供で、同楽曲を使用したCMが放送中である(同楽曲は、8月に発売されたEP「らんちゅう」に収録)。  
また、どちらの商品もそれぞれのブランドからの発信だけでなく、TikTokが人気のプロハンドボール選手土井レイミ氏と一緒に、白鶴酒造公式SNSからも情報発信していく。



プロモーションでは、「香水」が大ヒットしたシンガーソングライター瑛人を起用し、「BLUE MOON」のためにイメージソング「Hey Brother」を書き下ろしていただいた。瑛人がDJを務めるラジオ番組は、「BLUE MOON」の番組提供で、同楽曲を使用したCMが放送中である(同楽曲は、8月に発売されたEP「らんちゅう」に収録)。  
また、どちらの商品もそれぞれのブランドからの発信だけでなく、TikTokが人気のプロハンドボール選手土井レイミ氏と一緒に、白鶴酒造公式SNSからも情報発信していく。

「3面から続く」  
販売する営業活動に特化されてしまう。日本酒や酒類が消費される日は日々変化している。これまでとは違うポートフォリオを持つことで、私たちの行動も変えていきたい。

味の素社はこのほど、お米が主役のイベント「米活動KOME-KATSU」を東京駅直結のYANMAR TOKYOにて実施した。

家庭で簡単に本格中華が楽しめる合わせ調味料「Cook Do」シリーズが、ヤンマーホールディングス、象印マホービン、47CLUBと協力し、日本の米農家を応援するイベント。会場では、全国から「Cook Do」と相性抜群の19ブランド(日替わり7種×3日)のお米を用意し、ワンコイン(500円)で「Cook Do」の食べ合わせを7~9日の期間限定で提供。また、米農家のコメント動画の放映や、推し米と写真を撮って投稿すると抽選で「Cook Do」が1品種当たるキャンペーンを実施した。

イベントの開催に先立ち、6日に記者発表会を実施。発表会に出席した味の素社調味料事業部メニュー調味料グループの塩

## 味の素社「米活動KOME-KATSU」



谷美咲氏(写真左から2番目)は、イベントについて「Cook Do」は今年で発売45周年。ご飯がすすむ中華合わせ調味料として、ご飯とともに成長してきたと考えている。今回、お米が主役となる場所を作りたいと考え、イベント開催に至った。お米は非常に美味しいものだが、若者の米離れ、人手不足などがあり農家が困っている状況にある。このような中、美味

しいお米を生活者の方々に食べたいいただき、米農家の方々に応援するような取り組みもできると考えている。

イベントは宣伝開始から3日前で事前発売チケットが完売しており、非常に盛り上がることを期待している。今回、「Cook Do」の人気No.1・2の「回鍋肉用」「青椒肉絲用」や、今年8月に発売した「極(プレミアム)麻辣麻婆豆腐用」をピックアップ。また、「今夜は中華飯」シリーズから2品種をメニューとして取り上げている「など」と語った。

そのほか、協賛会社からの挨拶も実施された。ヤンマーマルシェ吉岡望美氏(同3番目)「ヤンマーグループでは持続可能な社会、サステナブルフューチャーの実現をパーパスとし、我々が目指す

い」ではなく、存在がそのまま「ZIMA」であり、楽しい時間と一緒に飲んで欲しいという感覚で伝えたいのだが、頭の切り替えに苦戦しているところだ。

「今後の取り組みと販賣目標」  
当面はモルソン・クアー

ズ・ジャパンが販売していた規模を目指して取り組んでいく。日本酒を販売してきた固定概念で考え過ぎてしまいい、一歩踏み込めないところもあったと思うので、成功事例をたくさん作り、一歩を踏み出しやすくしてい

べき豊かな未来を4つの社会に定義して、その実現に向けた活動を行っている。ヤンマーマルシェでは、生産者の栽培支援につながる取り組みや、今回のイベント会場で生産者と消費者がつながる場所の創出をしたいと考えている。創業以来長年、生産者とともに歩んできた弊社としては、今回の企画を通じてより多くの方々にお米のおいしさを感じてもらい、米の魅力を再発見してもらいたい

象印マホービン山田周平氏(同4番目)「弊社は炊飯ジャーをはじめとする調理家電やステンレスポトル、生活家電などを展開している。その中で炊飯器は看板事業であり、50年以上、皆様のご家庭に美味しいご飯を届けたいという想いで取り組んできた。今回のイベントでは、弊社の最高級炊飯ジャー「炎舞炊き」を提供した。この

「炎舞炊き」を提供した。この炊飯器で炊き上げたお米を提供することで、イベントを盛り上げていきたいと考えている。「Cook Do」とのペアリングを楽しんでもらいたい」

47CLUB 枅谷維吹氏(同1番目)「弊社は、全国の地方新聞社45社、46紙がライアンズを組んだ事業体。様々なイベントで日本各地の一品を提供する事業を行っている。今回、各都道府県から選りすぐりの農家のお米を用意した。今年は例年に比べ、猛暑が続いたことで収穫時期や収穫量に変動があり、厳しい1年だったと各農家から聞いている。今回、イベントに合わせて各農家の自信作の新米を用意した。地域や品種によって粘り気の強いものや、味わいの深いもの、甘みが強いものなど、多種多様な味わいが楽しめる。自宅ではなかなか食べ比べる機会が少ないと思う。この機会に好みの推し米を見つけてほしい」などとコメントした。

「石田田昂

テレビで带状疱疹の特集を放映していた。異変を感じてから72時間以内に受診するのとならないのでは、後遺症に陥る確率が大きく違うという。番組では、長期間痛みに悩む女性が登場。その辛さを訴えていた

▼何十年も前だが、まだ存命だった父が罹患し、腹部に包帯を巻きながら、塗り薬だけで対処していたことを思い出す。我慢強さが仇となつて癌で他界した父が、これは痛い、と唸っていたほど辛かったようだ

▼その後、リリカなどの内服薬の登場で、亡母や家人が罹患したときは、父のそれとは比べものにならないくらい軽微だったようだが、その家人に罹っていないのは貴方だけと言われワクチンが話題となった

▼値段はさておき、肺炎球菌から始まり、4年間で7回のコロナワクチン+4回のインフルエンザワクチンと、ワクチン漬けの昨今。副反応もあるという带状疱疹ワクチンを接種するか否か…。酒なら何回でも嬉しいのだが。

▼その後、リリカなどの内服薬の登場で、亡母や家人が罹患したときは、父のそれとは比べものにならないくらい軽微だったようだが、その家人に罹っていないのは貴方だけと言われワクチンが話題となった

▼値段はさておき、肺炎球菌から始まり、4年間で7回のコロナワクチン+4回のインフルエンザワクチンと、ワクチン漬けの昨今。副反応もあるという带状疱疹ワクチンを接種するか否か…。酒なら何回でも嬉しいのだが。

▼その後、リリカなどの内服薬の登場で、亡母や家人が罹患したときは、父のそれとは比べものにならないくらい軽微だったようだが、その家人に罹っていないのは貴方だけと言われワクチンが話題となった

